

# 雇用・労働状況に関する資料

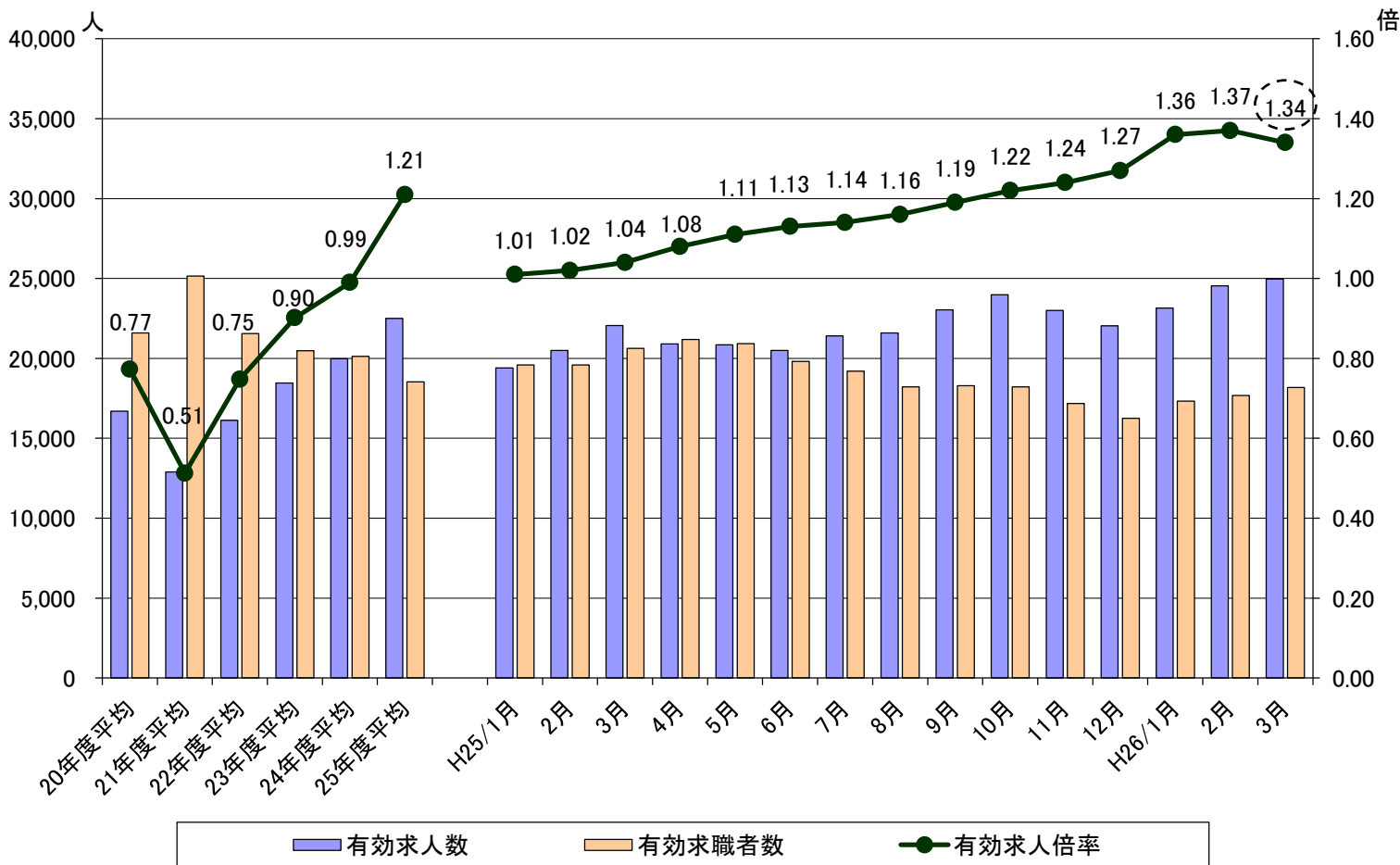
平成26年5月現在

# 1 雇用情勢の推移

- 平成25年1月以降、有効求人倍率は1.00倍を上回る水準で推移しており、雇用情勢の改善が進んでいる。
- 平成26年3月の有効求人倍率は1.34倍であり、全国平均（1.07倍）を大きく上回っている（全国8位）。

計画P5

○月間有効求人数・有効求職者数、有効求人倍率の推移(富山県)

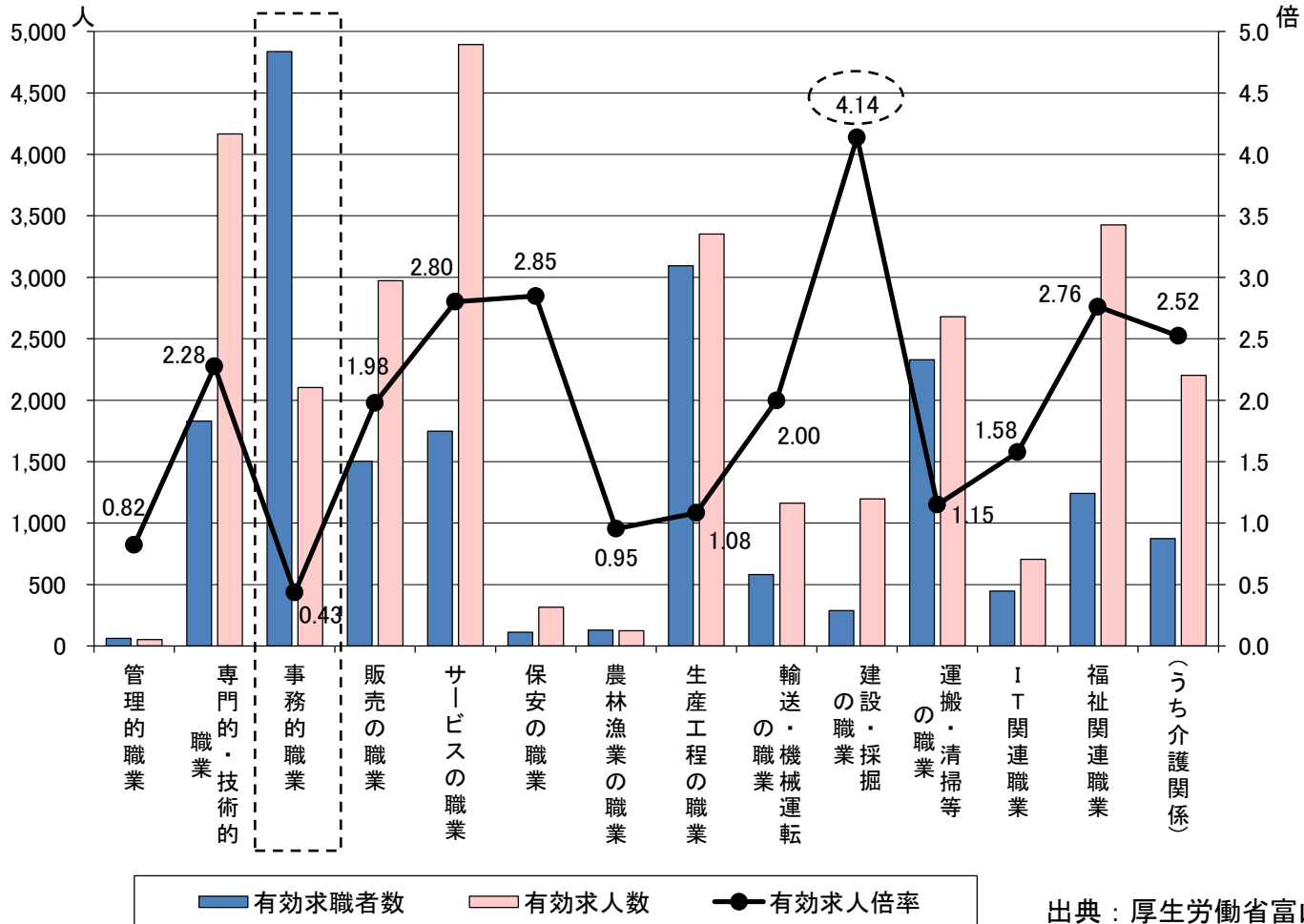


## 2 職業別の求職・求人状況

- 平成26年3月現在の職業別の有効求人倍率では、「建設・採掘の職業」が4倍を超えている。
- 一方、「事務的職業」は、求職者数が最も多いが求人数が非常に少ないなど、職種によって求職・求人のミスマッチが存在している。

計画P6

○職業別有効求職者・求人数、有効求人倍率(平成26年3月・富山県)



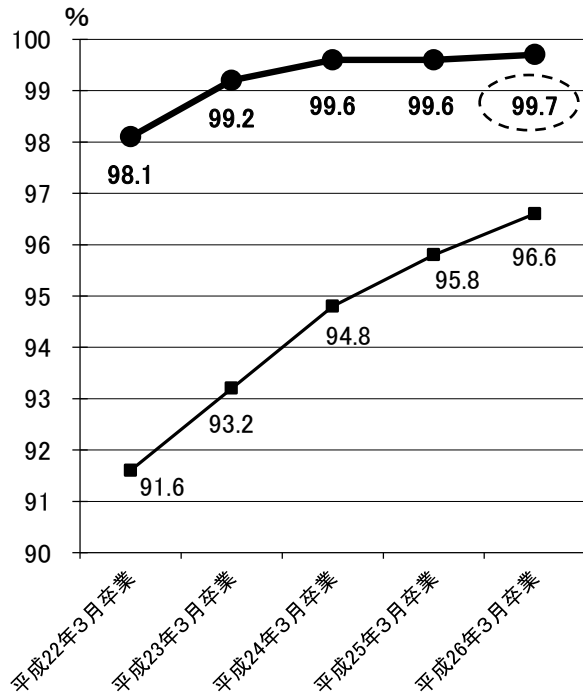
出典：厚生労働省富山労働局

### 3 若者の就業状況

- 高等学校卒業者の就職率は極めて高く、例年全国上位クラスである（26年3月卒業生…全国3位）。
- 大学等卒業者の就職率は、全国平均を上回り、近年は95%超を維持している。
- 新規学卒者の職場定着は、全国平均との比較では良好であるものの、およそ3人に1人の割合で就職後3年以内に離職する状況にある。

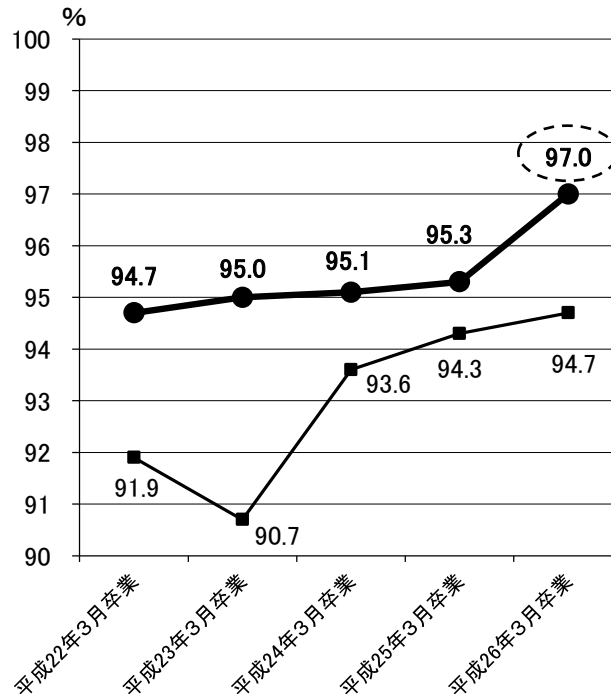
計画P7

○高等学校卒業者の就職率の推移



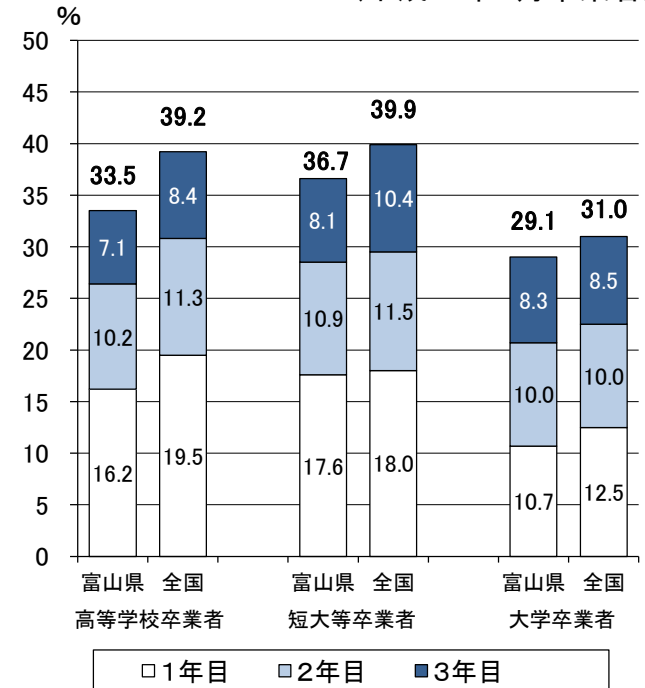
※高等学校卒業生…  
富山県、全国とも卒業年3月末現在の就職率

○大学等卒業者の就職率の推移



※大学等卒業生…  
富山県: 大学、短期大学、高等専門学校、  
専修学校、職業能力開発校の卒業生  
(卒業年3月末現在の就職内定率)  
全国: 大学、短期大学、高等専門学校の卒業生  
(卒業年4月1日現在の就職率)

○新規学卒就職者の在職期間別離職率  
(平成22年3月卒業生)



※各年の離職率は、小数第2位で四捨五入をしているため、  
各年離職率の合計と3年間通算の離職率は一致しない  
ことがある。

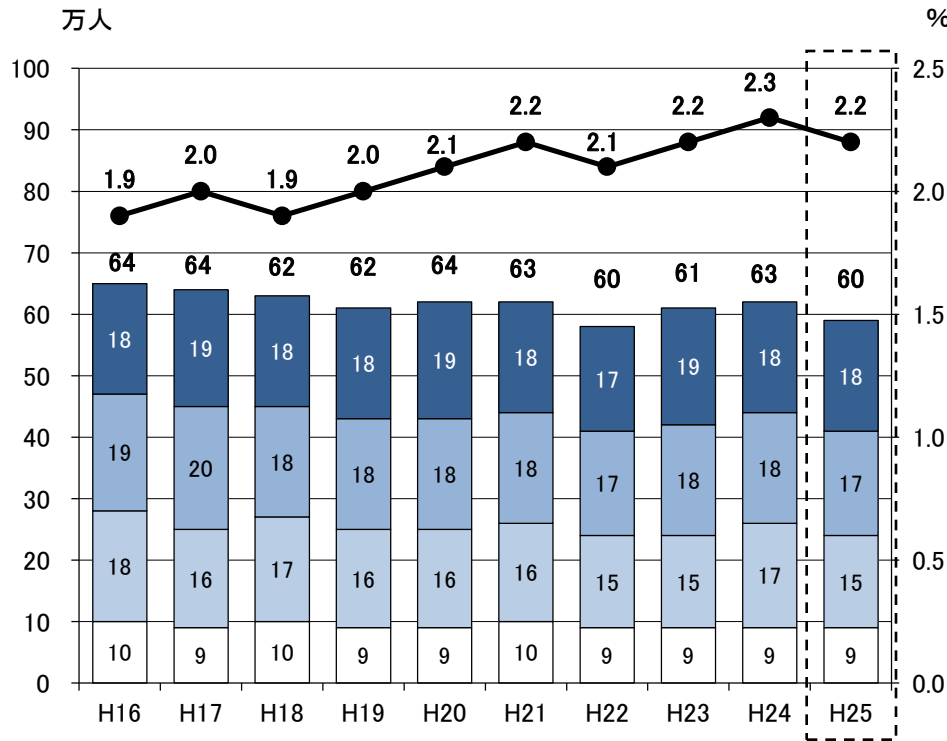
出典：文部科学省、厚生労働省

# 4 ニート・フリーターの状況

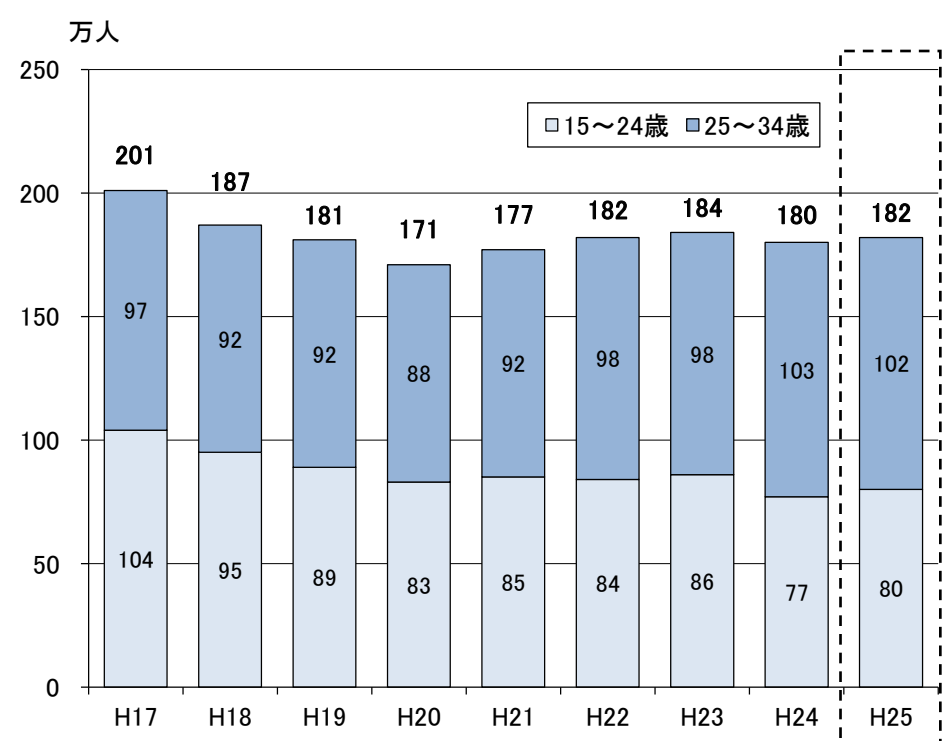
○全国のニート（若年無業者）数は、平成25年平均で60万人であり、近年60万人台で推移している。  
 ○フリーター数は、平成25年平均は182万人であり、近年180万人前後で推移している。

計画P8

○ニート(若年無業者)数・対人口割合の推移(全国)



○フリーター数の推移(全国)



15~19歳  
 20~24歳  
 25~29歳  
 30~34歳  
 割合(右目盛軸)

※各年齢階層における人数は、千人単位で四捨五入をしているため、各年齢階層の合計と総数は一致しないことがある。

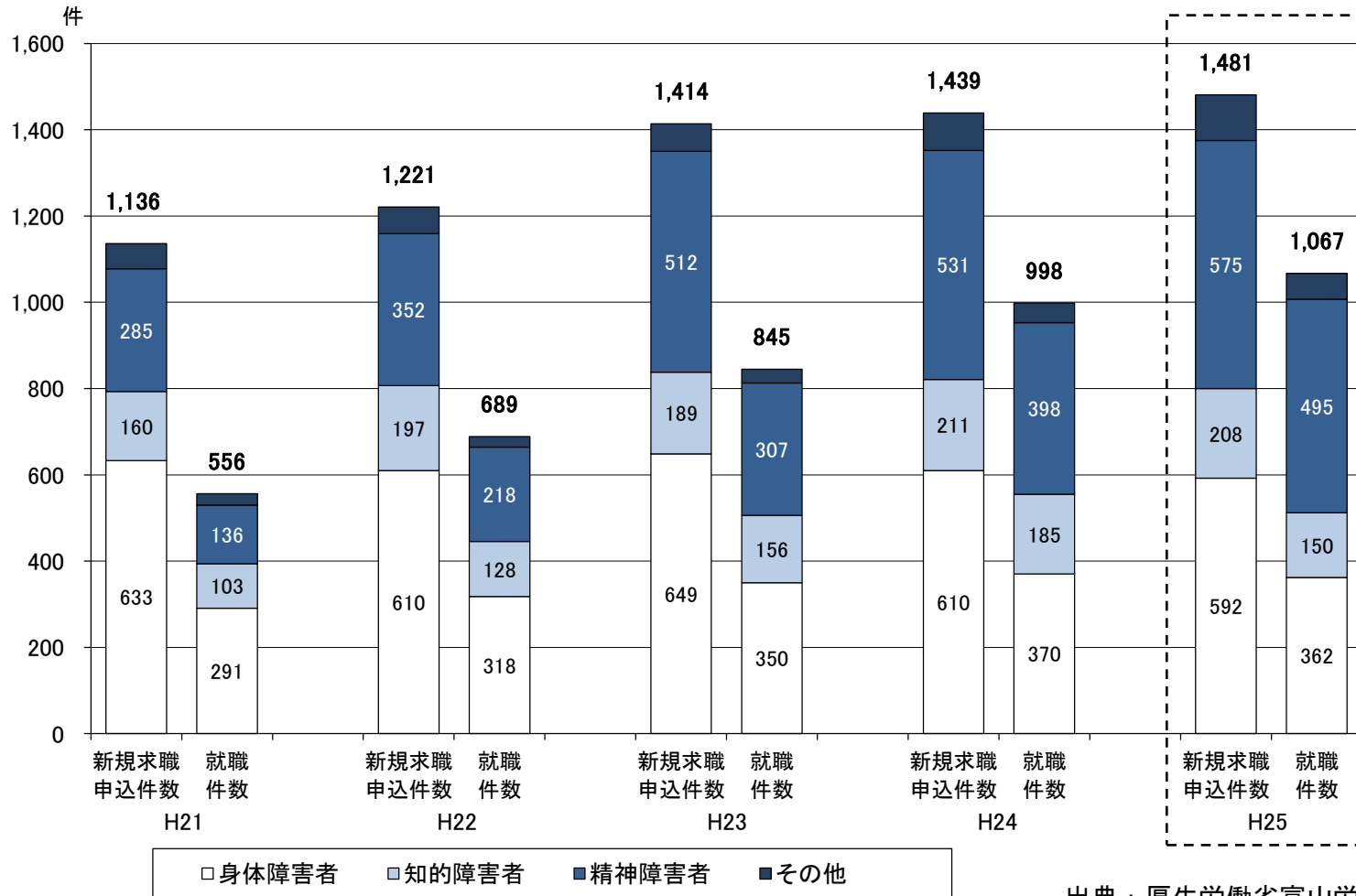
※年齢が15~34歳で、男性は卒業生、女性は卒業で未婚の者のうち、  
 ①「パート・アルバイト」の者  
 ②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者  
 ③非労働人口で、家事も通学もしていない「その他」の者のうち、就職内定しておらず、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」の者

# 5 障害者の就職状況

○平成25年度の新規求職申込件数は1,481件、就職件数は1,067件で、ともに近年増加傾向にある。  
 ○就職件数は初めて1,000人の大台を突破し、就職率（72%）は全国1位となっている。

計画P9

○障害者の就職状況の推移(富山県)



出典：厚生労働省富山労働局